

東京都庭園美術館
年報

2021

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM
Annual Report

ごあいさつ

東京都庭園美術館は、「東京都庭園美術館条例」(令和2年3月31日公布)に基づく公の施設として、令和3年度より新たなスタートを切りました。同時に、長年当館の管理運営を担ってきた公益財団法人東京都歴史文化財団が改めて指定管理者に選定され、これまで培った文化財建築の保存活用に関する知識と経験を発揮しつつ、引き続き安全・安心で快適な環境創りに努めております。

指定管理者となるにあたり、財団ではこれまで館運営の柱としてきた建物の保存管理と展覧会の開催に加え、さまざまな社会的課題に対応し、広く美術鑑賞の楽しさを提供することを新たな使命として掲げました。

令和3年度は、障害のある方や乳幼児と暮らす家族を対象とした鑑賞ツアーの本格実施、多文化共生プログラムの一環としての「やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム」、茶室を活用した親子で参加できるワークショップ「こども茶会」など、まもなく開館40周年を迎える当館としても初めてとなる試みに意欲的に挑戦した一年となりました。

また、年度内に実施した計5本の展覧会も、事前予約制の導入や鑑賞マナーの徹底など、引き続きコロナ禍の各種制約のなかでの開催となりましたが、みなさまのご理解とご協力を賜りつつ実現することができました。どの展覧会も当館のユニークな環境特性を活かし、それぞれに創意工夫を凝らした独自性の高い内容をご提供できたと自負しております。

ここに令和3年度の成果をまとめた年報を上梓しましたことをご報告させていただくとともに、本年報を通してより多くのみなさまに当館の活動をご理解いただく一助としつつ、さらなる充実へと繋げる端緒となるよう励んで参ります。

令和4(2022)年4月
東京都庭園美術館

目次

基本方針	1
令和3年度の東京都庭園美術館	2

各事業報告

1. 建物・庭園公開事業	4
2. 企画展示事業	14
3. 紀要の発行	27
4. 普及事業	28
5. クリエイティブ・ウェル・プロジェクト	29
6. 旧朝香宮邸資料公開室の運営(ウェルカムルーム)	32
7. 学校連携事業(スクールプログラム)	33
8. 東京都庭園美術館コンサート	34
9. 美術品の収集	35
10. 広報事業	36
11. 美術館維持管理	38
12. 収益事業	41

令和3年度の実績

1. 入館者数	44
2. 広報・宣伝	44
3. 収益事業収入	44
4. 展覧会関連事業	45

その他

1. 組織図	46
2. 展覧会実績一覧	47
3. 施設配置図	53

基本方針

1. 歴史的建造物である本館の保存とその公開

2. 装飾芸術に基づく新たな価値を今日の社会に活かす展覧会・各種事業の実施

3. 「歴史的建造物」、「装飾芸術」、「庭園」を三本柱とする文化的都市空間の形成

4. あらゆる鑑賞者に開かれた美術館の実現

東京都庭園美術館は、本館が昭和8年(1933)に建築されたアール・デコ様式の歴史的建造物であることから、昭和58(1983)年の設立以来、その「保存」と「活用」を運営方針としてきました。

保存の面では、開館を期に本館の修復作業に着手し、また毎年、アール・デコ様式の調査研究を兼ねた「建物公開展」を開催してきました。その成果のひとつとして、本館は平成27年(2015)に、国の重要文化財「旧朝香宮邸」に指定されています。

活用の面では、アール・デコという言葉が、「装飾芸術」(建築、デザイン、工芸、家具、美術等に表れる装飾性)を意味するフランス語に由来することから、これまで国内外の美術作品を、主として装飾芸術の観点から取り上げる展覧会を企画してきました。

平成26(2014)年の新館改築を機に、館の運営方針には、「新たな価値の創造」が加えられました。これによって庭園美術館の展覧会事業には、今日の視点で装飾芸術を創造する芸術家の作品を展示することが加わりました。

このほかに東京の文化の魅力の創造と発信に寄与するために、装飾芸術の価値を今日の社会に生かすという視点から、庭園の活用事業をはじめとして、さまざまな教育普及事業にも取り組んでいきます。

以上の経緯により、庭園美術館は、重要文化財である「旧朝香宮邸」の保存と公開を基盤に、装飾芸術の力によって、東京という都市のこれからの課題である多文化共生、環境問題などに対応し、すべての都民の心を豊かにする場となることを目指していきます。

令和3年度の東京都庭園美術館

令和3年

- 4月 1日 東京都庭園美術館条例施行
「20世紀のポスター [図像と文字の風景]」展を前年度から引き続いて開催
- 2・3日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、春の夜間開館を中止
- 3日 「20世紀のポスター [図像と文字の風景]」展 関連ワークショップ「形と文字で遊ぶポスター」開催
- 11日 「20世紀のポスター [図像と文字の風景]」展閉幕
- 23日 外部評価委員会を通常開催
- 24日 「建物公開 2021 艶めくアール・デコの色彩」展開幕
- 25日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言発令により、庭園を含めて全面休館
- 5月 1日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、4月に引き続き5月も休館
～31日 庭園公開も同様に休止
- 21～23日 ファンタスティックサイト「大駱駝艦」を芝庭にて開催
- 6月 1日 感染拡大防止対策として、日時予約制を導入し、入場者数管理を行うことで「建物公開 2021 艶めくアール・デコの色彩」展及び庭園公開を再開
- 4日 ティーチャーズウィーク（建物公開展）を13日まで実施
- 5日 保存修復ワークショップ「野外彫刻のメンテナンス - 使いながら守ること」開催
- 7日 「ベビーといっしょにミュージアムツアー」及び「障害のある方向け アート・コミュニケーターとめぐる庭園美術館」開催
- 13日 「建物公開2021 艶めくアール・デコの色彩」展開幕
- 26日 「ルネ・ラリック リミックス——時代のインスピレーションをもとめて」展開幕
茶室ワークショップ「重文わかる茶会」開催
- 27日 やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム「生活の中の文様を見つけよう」開催
- 7月 1日 ティーチャーズウィーク（ルネ・ラリック リミックス展）を11日まで実施
- 20日 茶室「夏の特別公開」を8月29日まで実施
- 21日 暑さ対策として正門付近1か所、アプローチ3か所及び本館前1か所の計5か所にミストを9月24日まで設置
- 23日 オリンピック・パラリンピック開催に伴うテロ等安全対策として来館者への手荷物検査を9月5日まで実施
- 31日 夏の特別茶会「ガラスの清寂」開催
- 8月 10日 「ベビーといっしょにミュージアムツアー」開催
- 30日 机上で自衛防災訓練を9月5日まで実施
- 9月 5日 「ルネ・ラリック リミックス——時代のインスピレーションをもとめて」展閉幕
- 18日 「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」展開幕
- 22日 ティーチャーズウィーク（キューガーデン展）を30日まで実施
- 29日 スクールプログラム開館日コース（東洋女子高等学校）
- 10月 1日 「都民の日」庭園無料公開
- 2日 ホテル雅叙園東京との展覧会の相互割引を11月28日まで適用
- 6日 「第1回館長講座」開催



- 10月 17日 芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドの協力のもと「ガーデンコンサート2021」開催
- 18日 「ベビーといっしょにミュージアムツアー」開催
- 30日 茶室ワークショップ「重文わかる茶会」開催
- 11月 5日 スクールプログラム 開館日コース(東京女子学園中学校)開催
- 6日 東京文化財ウイーク2021企画事業 トークイベント 「近代茶室「光華」の魅力-数寄屋大工の眼、建築史家の眼」開催
- 8日 第1回 東京都庭園美術館コンサート(ギャラリー2)開催
日本庭園の池清掃を12日まで実施
- 13日 茶室ワークショップ「こども茶会-おもてなしの心」開催
- 15日 「障害のある方向け アート・コミュニケーターとめぐる庭園美術館」開催
- 17日 「第2回館長講座」開催
- 20日 ワークショップ「庭にひそむボタニカルアーティスト —美術館で見つける植物の不思議」開催
- 23日 秋(紅葉)の夜間開館を28日まで実施
茶室「秋の特別公開」を12月12日まで実施
- 27日 茶室イベント「秋の呈茶(港区華道茶道連盟)」開催
- 28日 「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」展閉幕
- 12月 4日 第2回 東京都庭園美術館コンサート(本館)開催
- 5日 第3、4回 東京都庭園美術館コンサート(本館)開催
- 6日 鋼製建具補修、カーテンボックス補修等集中工事を28日まで実施
- 22日 東京都庭園美術館美術資料収蔵委員会を開催

令和4年

- 1月 12日 都の方針により3月21日まで庭園公開休止
- 15日 「奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム」展閉幕
- 18日 ティーチャーズウイーク(奇想のモード展)を28日まで実施
- 29日 「俳句で詠む美術館(試行)」開催
- 31日 指定管理委託に係るモニタリング調査
- 2月 2日 「第3回館長講座」開催
- 14日 スクールプログラム 休館日コース(白金の丘小学校、聖心女子学院高等科)開催
- 28日 「障害のある方向け アート・コミュニケーターとめぐる庭園美術館」開催
- 3月 5日 やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム 「驚く服を見つけよう!あなたは何を着たいですか?」開催
- 14日 委託事業者、レストラン、ショップ参加による自衛消防訓練を実施
- 19日 「ウエルカムユース」(18歳以下の方が都立美術館・博物館の入場料が無料となる事業)を4月3日まで実施
- 22日 「ベビーといっしょにミュージアムツアー」開催
- 25・26日 春(桜)の夜間開館を実施
- 31日 スクールプログラム開館日コース(東京都立芸術総合高等学校)開催

各事業報告

1. 建物・庭園公開事業

1. 建物公開 2021 つや 艶めくアール・デコの色彩

期 間：2021年4月24日(土)、6月1日(火)～6月13日(日) [13日間]

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、

当初の会期4月24日(土)～6月13日(日)(会期44日間)から変更

主 催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

観 覧 料：一般1000円／大学生(専修・各種専門学校含む)800円／

中学生・高校生500円／65歳以上500円

出品点数：約120点

広報印刷物：ポスター(B1、B2)チラシ(A4)

デザイン：山田信男(セントラルパーク)

年間協賛：戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P.

担 当：吉田奈緒子

来館者数：6,895人(一日平均530人)



概要

1933年に竣工した旧朝香宮邸(現・東京都庭園美術館本館)の魅力を紹介する、年に一度の建物公開展として実施した。旧朝香宮邸内に存在する「色」に改めて着目し、これまで辿ってきた歴史や旧朝香宮邸の見どころについて色彩という切り口から紹介した。さらに、文化財としての側面を伝えるべく、修復の経緯や調査研究などの取り組みをパネルで解説した。

本館では、修復後初公開のものを含めた家具調度による情景再現のほか、残存するオリジナルの壁紙の一片を元にして壁面を造った妃殿下寝室の再現、大食堂でのテーブルセッティングなど邸宅空間を活かした展示を行った。新館では、当館の所蔵作品を中心としたアール・デコ期の作品や資料から色彩の特長を展覧し、来場者の心に新たな彩りを添える機会となることを目指した。

関連イベント

ワークショップ「野外彫刻のメンテナンス - 使いながら守ること」

概 要：東京都庭園美術館の野外彫刻作品の一つ、エドゥアール・M・サンド《座る豹》のメンテナンス作業を保存修復の専門家である講師2名とともにに行った。作品の特性を知ることや状態の確認に始まり、専用の道具を使用した一連のクリーニング作業を参加者全員が実際に体験するものであった。作業後は振り返りを行い、保存に関するトークと対話から、文化財の保存・活用について参加者同士が思考を深める時間とした。

日 時：2021年6月5日(土) 13:00～16:00

場 所：東京都庭園美術館 本館 スタジオおよび新館 中庭

講 師：松永亮太(コンサヴァター)、高橋銑(アーティスト)

対 象：中学生以上

参加者数：7人

参加費：無料(ただし、当日の展覧会チケットが必要)

申込方法：館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制





ハンドアウト

タイトル：「建物公開 2021 艶めくアール・デコの色彩」 会場案内／作品リスト
判型・ページ数：両面 A3 折り（仕上がりサイズ A5）
執筆・編集：吉田奈緒子
デザイン：山田信男（セントラルパーク）
印刷：前田印刷株式会社
発行：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館



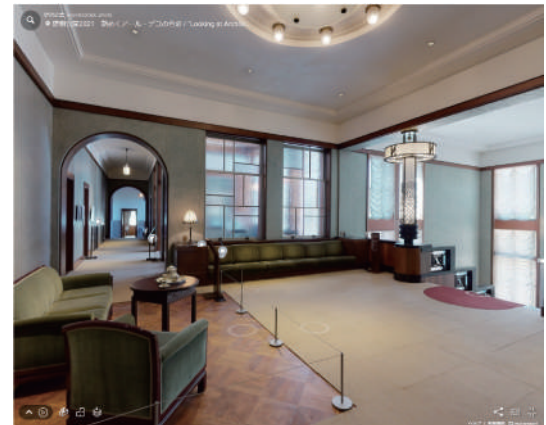
ギャラリートーク（動画配信）

タイトル：「建物公開 2021 艶めくアール・デコの色彩」 ギャラリートーク
上映時間：17分 49秒
内容：担当学芸員による展覧会展示解説、展示紹介
出演：吉田奈緒子
撮影・制作：大倉英揮（黒目写真館）
URL：https://www.youtube.com/watch?v=S_bq1aBCXGg&t=664s
公開期間：2021年6月2日～当面の間



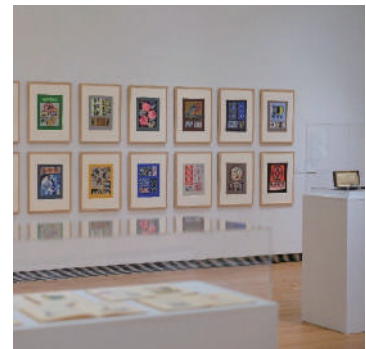
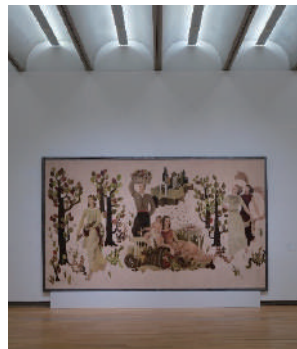
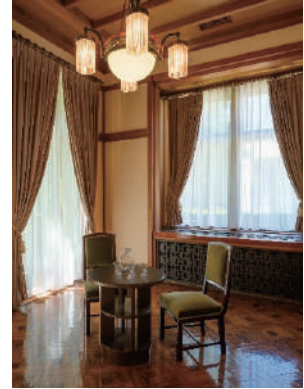
3Dオンラインビューイング

内容：展覧会会場の3VDVR空間及び作家解説、作品解説、
キャプションを掲載
撮影・制作：合同会社ワンダーストック
URL：<https://www.teien-art-museum.ne.jp/exhibition/onlineview.html>
公開期間：2021年8月17日～当面の間





展示会場





2. 旧朝香宮邸資料修復・復原

購入および寄贈を受け、当館内で保管されていた朝香宮家旧蔵家具資料3点の状態調査および修復作業を実施した。いずれもかつて朝香宮家が旧蔵していた1910-30年代製家具で、用いられている素材や技法から考察してもその価値は高い。劣化・腐朽部分の修復、欠損部分の製作、クリーニング、細かな調整等、慎重に調査を行った上で、オリジナル部分を最大限に残しながらも耐久性を担保するような方向性で作業を実施した。今後は、建物公開展をはじめとした展示において活用予定である。





3. 庭園公開事業

植栽の管理に力を入れ、シイノキやシラカシにナラ枯れ病の症状を確認したが、適切に拡散防止対策を実施し、お客様が何時来館されても心地よい庭園として来館者に公開した。

今年度も「庭園パスポート」を販売し、芝庭、日本庭園、西洋庭園それぞれ趣の異なる庭園と茶室を楽しんでいただいた。

庭園公開日数：218日

庭園のみ入場者数：39,110人

庭園パスポート

販売数：400枚

入園者数：4,307人(同伴者1,384人を含む。同伴者1人まで無料)





4. 茶室活用

庭園公開事業の一環として、日本庭園内の茶室「光華」(重要文化財)の活用を行い、茶室建築及び茶の湯文化の普及に資した。

1 茶会等事業

(1) 茶室ワークショップ「重文わかる茶会」

お茶そのものにもっと親しみを持ってもらうために、実技や解説を交えたワークショップ「重文わかる茶会」を実施した。内容は、茶会に関する基礎知識を立礼席で説明したのち、露地の蹲(つくばい)の使い方の実技、広間にてお菓子の食べ方の実技を行った。最後に小間で講師から薄茶とお菓子が振舞われた。茶会の趣向が、その時々季節感、年中行事、時事の話題などを元に、亭主が道具や室礼にさまざまな工夫を凝らしたものであることを理解してもらった。

第1回

日 時：2021年6月26日(土)

場 所：茶室「光華」立礼席、広間、小間

講 師：沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家)どちらも裏千家

参加者数：一般公募35人(5席)

参加費：1,000円(入館料別途)、事前申込制(各回定員8人×5席、先着順)

第2回

日 時：2021年10月30日(土)

場 所：茶室「光華」立礼席、広間、小間

講 師：沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家)どちらも裏千家

参加者数：一般公募37人(5席)

参加費：1,000円(入館料別途)、事前申込制(各回定員8人×5席、応募多数は抽選)





(2) 茶室ワークショップ「こども茶会-おもてなしの心」

プログラムとしては初の試みになる「こども茶会-おもてなしの心」を実施した。対象は小学4年生～6年生とその保護者とした。2時間のプログラムで、前半はこどもと保護者は別々になり、こどもたちには模擬茶会を通して、茶会のこと、道具の名前や使い方、お菓子の食べ方、抹茶の飲み方のレクチャーを受けた後、茶筌で抹茶を点てるという実技を行った。その間、保護者には別室で茶会や茶室に関するレクチャーを行った。その後、こどもたちと合流し、こどもが掛軸や花、道具のこと、お菓子の食べ方を保護者に説明し、抹茶を点て、飲み方を伝えて保護者に振舞うという内容とした。

日 時：2021年11月13日(土)

時 間：午前の部 10:30～12:30

午後の部 13:00～15:00

講 師：目黒とうりあん茶道教室 船越宗英、河田宗愛、どちらも裏千家

参加者数：一般公募 午前・午後とも5組10人、計10組20人

参加費：1組1,000円(入館料別途)、事前申込制(各回定員5組、応募多数は抽選)



(3) トークイベント「近代茶室「光華」の魅力-数寄屋大工の眼、建築史家の眼」

茶室「光華」については、建築時の図面や建築の経緯についての記録が未見であり、また後年の関係者等へのインタビューにもほとんど言及がないため、竣工年月日をはじめ、いろいろ不明なことが多い。それでも中川砂村・平田雅哉という名人が建てた建築物として貴重なものであることから、現況を頼りに、建築史家と数寄屋建築のプロの眼から、「光華」の建築的な魅力を掘り起こそうという趣旨で企画した。スタジオで事前説明をしたあと、現場で建築を見ながら説明した。なお、このプログラムは「東京文化財ウィーク2021企画事業」として実施した。

日 時：2021年11月6日(土)①10:30～12:00 ②13:30～15:00

場 所：茶室「光華」

講 師：小沢朝江(東海大学工学部建築学科教授)

久保田豊(水澤工務店大工棟梁)

川嶋健史(水澤工務店建築本部長)

参加者数：一般公募 ①8人 ②10人 計18人

参加費：無料(入館料別途)、事前申込制(各回定員10人×2回、応募多数は抽選)



(4) 呈茶会

平成30年度以来、地元港区華道茶道連盟を亭主とし、「春の呈茶」「秋の呈茶」を実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、「春の呈茶」は中止とし、「秋の呈茶」のみ実施した。実施時期が、感染状況が比較的落ち着いていたこともあり、広間での呈茶に加えて立礼席でも呈茶を行った。

秋の呈茶

日 時：2021年11月27日(土)

場 所：茶室「光華」広間、立礼席

亭 主：港区華道茶道連盟 磯崎宗翠(表千家)

参加者数：一般公募 広間35人(定員40人)、立礼席15人(定員16人)、計50人

参加費：600円(広間、立礼席とも)、事前申込制(広間各席定員10人×4席、立礼席各席定員4人×4席、応募多数は抽選)



(5) 夏の特別茶会「ガラスの清寂」

エアコンのない茶室は夏の環境がたいへん厳しいため、これまで茶会等の事業は見送ってきたが、昨年度の「生命の庭」展出品作家の青木美歌氏にガラスの茶道具(花入れ、棗、水指)を制作していただいたことと、また「ルネ・ラリック リミックス」展を実施していることから、ガラスの茶道具を取り揃えた茶会を実施した。茶碗、棗、茶杓、水指、建水、蓋置、花入れ、香合はすべてガラス製とし、掛軸には墨書ではなく、佐渡島の写真家による波の写真を飾り、付書院には氷のオブジェを飾った。広間の軒にはすだれ、ガラスの風鈴を掛けるなど、涼感と日本の夏の風情を味わえる室礼とし、抹茶は冷茶仕立てとした。



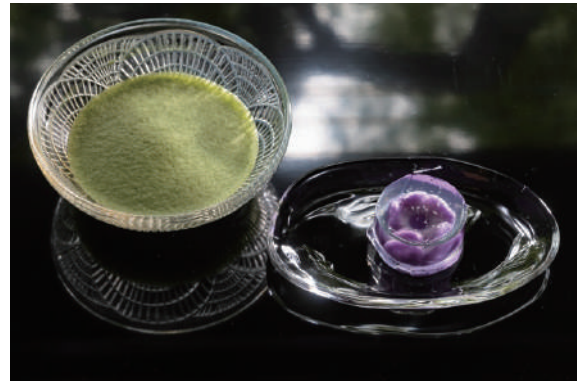
日 時：2021年7月31日(土)

場 所：茶室「光華」広間

亭 主：沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家)どちらも裏千家

参加者数：一般公募 29人(各回定員10人×4席、応募多数は抽選)

参加費：600円



2 一般公開、特別公開

(1) 一般公開

文化財建築の普及のため、通常開館日は立礼席まで立入りできるよう一般公開している。その中で広間には茶席の道具を配し、茶室の雰囲気味わってもらえるようにしている。配する道具は掛軸、花入れ、香合、茶碗、釜、茶筌、茶入れ、水指、建水等を展示し、季節に応じて展示替えを行っている。また季節に合わせて炉と風炉を入れ替えている。

茶室入室者：38,273人(茶会、ワークショップ等参加者を除く、2022年3月31日まで)

(2) 特別公開

① 夏の特別公開

1-(5)のとおり、ガラスの茶道具の紹介と、夏の日本家屋の風情を感じていただくため、広間まで立ち入りできる特別公開を行った。

期間：2021年7月20日(火)～8月29日(日)

時間：10:00～16:30

場所：茶室「光華」広間





②秋の特別公開

茶室広間からの日本庭園の紅葉を楽しんでいただくため、恒例行事として行っている。

期間：2021年11月23日(火)～12月12日(日)

時間：10:00～16:30

場所：茶室「光華」広間



3 紹介動画の制作、配信

「光華」は、朝香宮の邸宅時代から継承されている貴重な文化財であり、同じく継承されている日本庭園内に往時と変わらぬ姿を留めている。しかしながら本館に比較して認知度が低いことから、「光華」と日本庭園の魅力を伝えるための動画を制作し、公式YouTubeで配信した。

撮影：2021年12月

演者：沼尻宗真、海老澤宗香

楽曲：富田勲「亡き王女のためのパヴァーヌ」(ラヴェル)

時間：5分54秒

映像：株式会社らくだスタジオ

制作・著作：東京都庭園美術館 ©Tokyo Metropolitan Teien Art Museum 2022

URL：<https://www.youtube.com/watch?v=SfO6imOKdic>

公開期間：2022年2月4日～当面の間





2.企画展示事業

1.20世紀のポスター[図像と文字の風景]—ビジュアルコミュニケーションは可能か?



CONSTRUCTIVE POSTERS OF THE 20TH CENTURY

期 間:2021年1月30日(土)~4月11日(日)[67日間]

※令和3年度:2021年4月1日(木)~4月11日(日)[10日間]

主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、
日本経済新聞社

観 覧 料:一般1100円/大学生(専修・各種専門学校含む)880円/
中学生・高校生550円/65歳以上550円

出品点数:130点

広報印刷物:ポスター(B1, B2)チラシ(A4)

アートディレクション 澤田泰廣(多摩美術大学)

デザイン 長澤昌彦

企画協力:多摩美術大学

特別協力:株式会社竹尾

後 援:在日スイス大使館

年間協賛:戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P.

担 当:神保京子、田中雅子

来館者数:34,614人(1日平均517人)

・令和2年度 25,964人(一日平均456人)

・令和3年度 8,650人(一日平均865人)

※詳細については、2020年度年報を参照



2.ルネ・ラリック リミックス——時代のインスピレーションをもとめて



期 間:2021年6月26日(土)~9月5日(日)[65日間]
 主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
 観 覧 料:一般1400円/大学生(専修・各種専門学校含む)1120円/
 中学生・高校生700円/65歳以上700円
 出品点数:127点
 広報印刷物:ポスター(B1, B2)チラシ(A4)デザイン:岡崎由佳
 後 援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本
 年間協賛:戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P.
 特別協力:ラリックジャパン株式会社
 担 当:田中雅子、田村麗恵
 来館者数:25,957人 (一日平均399人)

概要

2019年度に惜しまれつつ途中閉幕した「北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック アール・デコのガラス モダンエレガンスの美」展の続編として、作家のインスピレーションの源をたどり、その多彩な表現世界に対して現代的な視点を加えた形での紹介を試みた。前回同様にガラス作品に加えて、ジュエリーも多数展示したことで、従来のラリックのファンに加えて新たな層からも高い支持を得られた。とりわけ本館では自然光を取り入れた明るい空間に展示し、当館ならではの環境でラリックの作品の新たな魅力を再発見していただける好機となった。新館ギャラリー1は、中山英之建築設計事務所が「もうひとつの邸宅」をコンセプトとした展示デザインを行った。真っ白な壁面に開けられた窓越しのラリック作品と出会うのは、さながら邸宅の外からの眺め。アーチをくぐり抜けて邸宅内に一歩踏み込むと、岡崎由佳氏によるグラフィックデザインと連動した、多くの解説や資料とともに作品が展示され、内外の対比がきいており、図鑑を読み解くかのような鑑賞体験へと誘われた。窓越しにのぞく新緑の庭園の借景と、ラリックの透明ガラスの放つ光の調和は、美術愛好家に加えて建築に関心のある方からも好評だった。

展覧会カタログ

書名:『ルネ・ラリック リミックス——時代のインスピレーションをもとめて』
 監修:東京都庭園美術館
 編集:田中雅子、田村麗恵、脇山妙子(左右社)、堀川夢(左右社)
 執筆:樋田豊次郎、田中雅子、笈菜奈子(東海大学教養学部 講師)、
 ヴェロニク・ブリュム(ヴァインゲン=シュール=モデル ラリック美術館 館長)、
 牟田行秀、池田まゆみ(北澤美術館 主席学芸員)
 アートディレクション:岡崎由佳
 デザイン:岡崎由佳+酒井茜
 インスタレーションビュー 撮影:三部正博





印刷・製本:株式会社アイワード

プリンティング・ディレクション:浦有輝

発行:株式会社左右社

発行数:3,300部

発行日:2021年7月31日

販売価格:2,970円(税込)

所収論文:樋田豊次郎「いま、ラリックが生きていたとしたら」

田中雅子「ルネ・ラリック リミックス」

笥菜奈子「装飾と芸術を越えて——ルネ・ラリックの世界に繋がること」

ヴェロニク・ブリュム「ラリックへのある視点 研究史、展覧会、美術館」

牟田行秀「コント・アサ(朝伯爵)のパリ——ラリックとの出会いを求めて」

池田まゆみ「一本の鉛筆の先から」

ハンドアウト

タイトル:「ルネ・ラリック リミックス——時代のインスピレーションをもとめて」

判型・ページ数:仕上A4・8ページ(スクラム製本)

掲載内容:会場マップ、作品リスト、作品解説

執筆:田中雅子

編集:田中雅子、田村麗恵

デザイン:岡崎由佳+酒井茜

印刷・制作:株式会社アイワード

発行:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館



ギャラリートーク(動画配信)

タイトル:「ルネ・ラリック リミックス——時代のインスピレーションをもとめて」ギャラリートーク

上映時間:33分16秒

内容:担当学芸員による展覧会展示解説、展示紹介

出演:田中雅子

編集・制作:大倉英揮(黒目写真館)

URL:<https://www.youtube.com/watch?v=sp4JDvvpRFU>

公開期間:2021年8月11日~2022年9月5日(予定)





3Dオンラインビューイング

内容： 展覧会場場の3VDR空間及び章解説、作品解説、
キャプションを掲載

撮影・制作： 合同会社ワンダーストック

URL： <https://www.teien-art-museum.ne.jp/exhibition/onlineview.html>

公開期間： 2022年3月28日～2022年9月5日（予定）



展示会場

本館



1



2



3



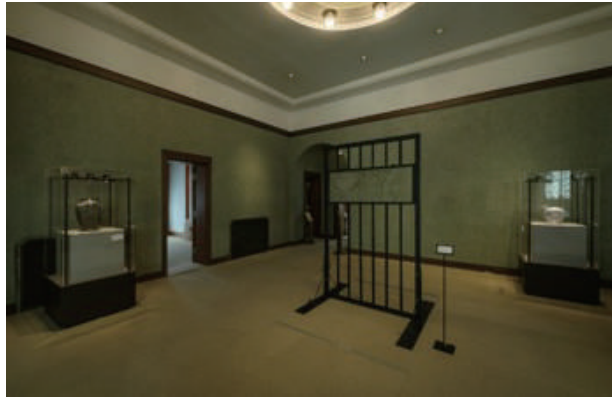
4



5



6

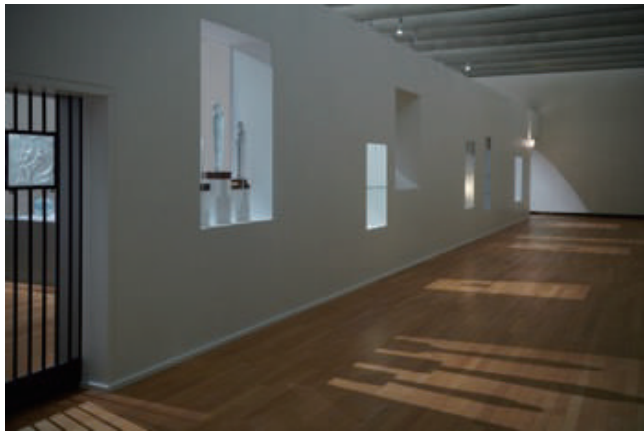


7



8

新館



9



10



11



12



13

大倉英揮(黒目写真館) 1、4、5、7

三部正博 2、3、6、8、9、10、11、12、13



3.キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート



期 間：2021年9月18日(土)～11月28日(日) [62日間]
 主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
 観 覧 料：一般1400円／大学生(専修・各種専門学校含む)1120円／
 中学生・高校生700円／65歳以上700円
 出品点数：約140点
 広報印刷物：ポスター (B1、B2) チラシ (A4)
 デザイン：垣本正哉(株式会社D_CODE)
 特別協力：英国キュー王立植物園
 後 援：ブリティッシュ・カウンシル
 協 力：日本航空
 企画協力：株式会社プレントラスト
 年間協賛：戸田建設株式会社、ブルームバーク L.P.
 担 当：吉田奈緒子、森千花
 来館者数：48,532人(一日平均783人)

概要

キューガーデンの愛称で親しまれ、現在は世界的観光地である一方、植物と菌類の科学的分野で研究機関として世界をリードしている英国キュー王立植物園。本展は、18～19世紀に制作されたキューガーデン所蔵コレクションの中心にボタニカルアート約100点を、当館の本館・新館を活用して展示した。また、自然や植物を愛したシャーロット王妃をキーパーソンに置き、シャーロット王妃が支援したウェッジウッド社の陶磁器を紹介したほか、当時の英国王室や時代背景、自然科学と植物画の発展の変遷もあわせて辿る内容とした。

さらには、当館の庭園を新規で撮影した映像作品の上映や、展示されたボタニカルアート作品に描かれた植物が実際に庭園で見られる場所と季節を会場内に示すなど、緑豊かな庭園に囲まれた当館ならではの試みを実施した。

関連イベント

ワークショップ「庭にひそむボタニカルアーティスト —美術館で見つける植物の不思議」

概 要：小学生を対象に、植物の観察をテーマとしたワークショップをアーティストとともに実施した。前半は展示室で様々な植物の描き方を鑑賞した後、西洋庭園にて実際の植物を観察。いくつかの植物の特徴や観察のコツを学びながら、それぞれが描きたい葉を採取した。後半は、眼鏡やペンライトなどの道具を使い、虫、鳥、風などの自然物の視点を想像しながら採取した葉を丁寧に観察。参加者それぞれが植物画を描いた。庭園の自然環境を活かしたワークショップの試行となった。





日 時:2021年11月20日(土)13:00~16:00
場 所:東京都庭園美術館 本館 スタジオおよび展示室、庭園
講 師:岩田とも子(アーティスト)
対 象: 小学校3年生~6年生
参加者数:11人
参加費:無料
申込方法:館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

東京都庭園美術館ガーデンコンサート2021



概 要:展覧会の内容に合わせ、英国王室やシャーロット王妃に縁がある作曲家または同時代の演目を選定して行った木管五重奏によるクラシックコンサート。展覧会と共に木管アンサンブルの華やかで温かい音色をお届けし、多角的に芸術への造詣を深めていただく機会とした。

日 時:2021年10月17日(日)14:00~16:45
場 所:東京都庭園美術館 芝庭
出 演:芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド 木管五重奏
主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
参加者数:200人
参加費:無料(ただし、当日の展覧会チケットまたは庭園チケットが必要)



展覧会カタログ

書名:『キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート』

編集:株式会社ブレントラスト

学術監修:大場秀章(東京大学名誉教授、総合研究博物館特招研究員)

発行:「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」
カタログ制作委員会©2021

執筆:フィオナ・エインズワース(キュー王立植物園ライブラリー・アート・アンド・アーカイヴズ代表)、リン・パーカー(キュー王立植物園イラストレーション・アンド・アーティファクト・コレクション、キュレーター)、ポリー・パットナム(ヒストリック・ロイヤル・パレス、キュレーター)、マイケル・ホワイトウェイ(文化・デザイン史、キュレーター)、シャーロット・ギア(美術・デザイン史家)、ステュアート・デュラント(建築・デザイン史家)、大場秀章、森川もなみ(山梨県立美術館学芸員)

販売価格:2,310円(税込)



ハンドアウト

タイトル:「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」

出品リスト

判型・ページ数:両面A3折り、8ページ

執筆・編集:吉田奈緒子

デザイン・制作:垣本正哉(株式会社D_CODE)



ギャラリートーク(動画配信)

タイトル:「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」 ギャラリートーク

上映時間:12分58秒

内容:担当学芸員による展覧会展示解説、展示紹介

出演:吉田奈緒子

撮影・制作:大倉英揮(黒目写真館)

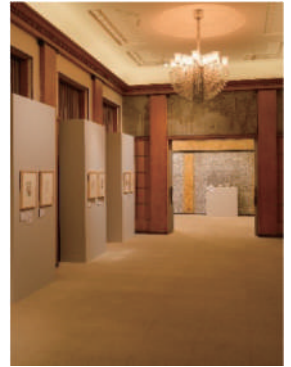
URL:<https://www.youtube.com/watch?v=T9Uq566mHW4>

公開期間:2021年10月29日~当面の間





展示会場





4.奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム



MODE SURREAL: A Crazy Love for Wearing

期 間:2022年1月15日(土)~4月10日(日)[74日間]

※令和3年度:2022年1月15日(土)~3月31日(日)[65日間]

主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

観 覧 料:一般1400円/大学生(専修・各種専門学校含む)1120円/

中学生・高校生700円/65歳以上700円

出品点数:190点

広報印刷物:ポスター(B1, B2)チラシ(A4) デザイン:原条令子

協 力:株式会社 七彩、株式会社 無限デザインスタジオ

年間協賛:戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P.

担 当:神保京子、大木香奈

来館者数:43,763人(1日平均591人)

・令和3年度 33,852人(一日平均521人)

・令和4年度 9,911人(一日平均1,101人)

概要

20世紀最大の芸術運動であったシュルレアリスム運動がモードに与えた影響、またモードの表現の中に散見されるシュルレアリストに共鳴しあうような感性を主軸として、両者の相関関係をさぐった。また本展ではさらに、シュルレアリストの感性に通ずるような作品群にも注目し、現代の私たちの視点からみたく奇想をテーマに、16世紀の歴史的なファッションプレートからコンテンポラリーアートに至るまでを、幅広く展覧した。ファッション・トレンドに敏感な若者層をターゲットに広報活動を展開させた結果、会場には先鋭的な装いを凝らして鑑賞を楽しむ来館者の姿が多数見受けられた。

展覧会カタログ

書名:『奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム』

MODE SURREAL: A Crazy Love for Wearing』

監修:神保京子

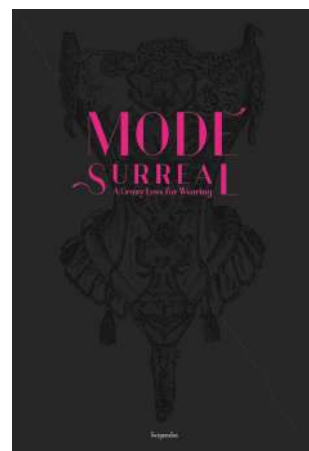
執筆:北村理沙子(アクセサリミュージアム 学芸員)、佐賀一郎(多摩美術大学 准教授)、筒井直子(京都服飾文化研究財団 学芸員)、浜崎加織(東京都写真美術館 学芸員)、浜田久仁雄(神戸ファッション美術館 学芸員)、弘中智子(板橋区立美術館 学芸員)、宮川謙一(東京富士美術館 学芸員)、山田志麻子(うらわ美術館 学芸員)、我妻直美(美術史家)、神保京子

編集統括:鎌田恵理子(青幻舎)

編集:廣瀬歩(STORK)、大木香奈

編集補助:方波見瑠璃子(東京都庭園美術館 インターン)

プリンティングディレクター:熊倉桂三(山田写真製版所)





制作管理:板倉利樹(山田写真製版所)

印刷・製本:山田写真製版所

発行:青幻舎

発行数:5000部

発行日:2022年2月11日

販売価格:2,970円(税込)

所収論文:神保京子「奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム」

ハンドアウト

タイトル:奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム

MODE SURREAL: A Crazy Love for Wearing

判型・ページ数:A3版二つ折り、8頁

掲載内容:展覧会作品リスト

編集:大木香奈

デザイン:原条令子

制作・発行:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

印刷:山田写真製版所



ギャラリートーク(動画配信)

タイトル:奇想のモード ギャラリートーク

上映時間:15分9秒

内容:担当学芸員による展覧会展示解説、展示紹介

出演:神保京子

撮影・制作:大倉英揮(黒目写真館)

公開期間:2022年3月25日~2022年4月10日





アーティストトーク(動画配信)

タイトル:奇想のモード アーティストトーク

出演(上映時間):永澤陽一(7分15秒)、小谷元彦(5分13秒)、ユアサエボシ(8分29秒)、館鼻則孝(6分15秒)、
串野真也(10分33秒)、ANOTHER FARM(7分30秒)

内容:出展作家による作品解説などを交えたアーティストトーク

撮影・制作:大倉英揮(黒目写真館)

公開期間:展覧会会期中

公開期間:2022年3月15日~2022年4月10日





展示会場





3. 紀要の発行

「東京都庭園紀要 2021」の刊行



所収原稿：「令和3年度修理報告」

高橋さおり（東京都庭園美術館 管理係 建物維持管理担当）

「旧朝香宮邸との対峙」

吉田奈緒子（東京都庭園美術館 学芸員）

発行方法：ウェブサイトおよび印刷物で公開



4. 普及事業

館長講座

展覧会や建物公開とは直接関連せず、もっとひろく美術あるいは美術館の愛好者を増やしていくことを目標として、平成30年度から館長講座を開催している。年間を通してテーマを決め、毎回そのテーマに沿った作品を取り上げながら、館長独自の視点で講座を行う。今年度は3回とし、定員は20人とした。

実績

【館長講座「近代によみがえる古代神話(フランス美術編)」】

1回:2021年10月6日(水)

第三共和政の守護神

彫刻《マリアンヌ Marianne》

受講者 17人

2回:2021年11月17日(水)

想像の市民社会

彫刻《平和の女神》、1935頃

ルイ・ドゥジャン(Louis Dejean 1872-1953)

受講者 19人

3回:2022年2月2日(水)

想像の伝統社会

彫刻《ノルマンディーの女神》、1935頃

レオン=ジョルジュ・ボードリー(Leon-George Baudry 1898-1978)

受講者 15人

実施概要

実施場所 東京都庭園美術館敷地内

レストラン デュ・パルク

時間 毎回 14:30~16:00(90分)

講師 東京都庭園美術館館長 樋田豊次郎

定員 各回20人

参加費 1,200円(ソフトドリンク付)

申込方法 当館ウェブサイトによる募集(先着順)



俳句で詠む美術館(試行)

美術館での鑑賞体験を俳句で詠み選句を行う句会を有志で試行した。

建築や作品というクリエイティブなものを見て、それを自身が俳句というクリエイティブなものに置き換えるという行為により、鑑賞体験をより「自分ごと化」できる。美術館の教育普及事業としての可能性が感じられた。

日時:2022年1月29日(土)10:00~16:00

場所:展示室内、本館スタジオ

参加人数:12人



5. クリエイティブ・ウェル・プロジェクト

障害のある方対象 アート・コミュニケーターとめぐる庭園美術館

概要: 段差や狭い間口が多い文化財建築の建物内で、障害のある方にも安心してご鑑賞いただけるよう、休館日に人数を限定したツアーを令和2年度より実施している。参加者一組ごとにアート・コミュニケーターが付き添い、個別のペースに合わせて移動や鑑賞のサポートを行う。本年度は展覧会ごとに開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止となり、計3回の実施で、あわせて49組78人の参加があった。ツアー中は、建築内部に施された文様の触知板の活用や、見えづらい作品をiPadの画面で拡大するなどの工夫を行い、各組ごとに会話を楽しみながら鑑賞した。また、カフェとミュージアムショップも時間限定で営業し、ツアー以外の時間帯もゆっくりと過ごせるようにした。



実施日: ①2021年6月7日(月)「建物公開2021 ^{つや} 艶めくアール・デコの色彩」
 ③2021年11月15日(月)「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」
 ④2022年2月28日(月)「奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム」
 (②2021年8月23日(月)「ルネ・ラリック リミックス——時代のインスピレーションをもとめて」の回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

時間: 【午前の部】10:30～12:00(10:15受付開始) 【午後の部】13:30～15:00(13:15受付開始)

場所: 東京都庭園美術館 展示室

対象: 身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳などをお持ちの方

定員: 各回10名とその介助者1名まで(定員を超過した場合は抽選)

参加者数: ①11組16人 ③19組32人 ④19組30人

参加費: 無料

申込方法: 館ウェブサイトのフォームより事前申し込み

運営委託: 特定非営利活動法人アート・コミュニケーション推進機構



ベビーといっしょにミュージアムツアー

概要: 子育て中の家族を応援するプログラムとして、乳幼児とその保護者のための鑑賞ツアーを令和2年度より実施している。乳幼児と一緒に躊躇せずに来館し、誰にも気を遣わずに過ごせるよう休館日を利用。当日は参加者一組ごとにアート・コミュニケータが付き添い、館内での滞在や鑑賞をサポートする。また、本館は通常ベビーカーでの入館はできないが、当日のみ特別に可能とした。本年度は計4回開催し、32組84人の家族が参加した。



実施日: ①2021年6月7日(月)「建物公開2021 ^{つや}艶めくアール・デコの色彩」
 ②2021年8月10日(火)「ルネ・ラリック リミックス——時代のインスピレーションをもとめて」
 ③2021年10月18日(月)「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」
 ④2022年3月22日(火)「奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム」
 ※①は当初5月31日(月)に開催予定だったが緊急事態宣言延長のため1週間延期して開催した。

時間: 11:00～12:00(受付開始:10:30)

場所: 東京都庭園美術館 展示室

対象: ベビーカーに乗る年齢・月齢の赤ちゃんとその保護者

定員: 各回10組(保護者は2人まで。定員を超過した場合は抽選)

参加者数: ①2組5人 ②9組25人 ③11組29人 ④10組25人

参加費: 無料

申込方法: 館ウェブサイトのフォームより事前申し込み

運営委託: 特定非営利活動法人アート・コミュニケーション推進機構

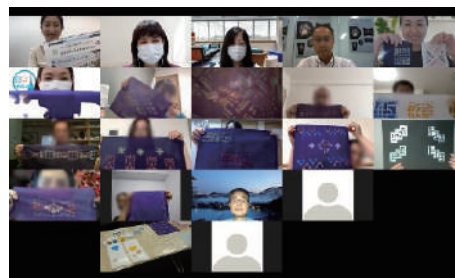


やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム

様々な文化背景の人々が美術館を拠点に、文化や言葉を超えて理解を深めることを目指し、日本語を母語としない方々と日本人を対象に「やさしい日本語」を使ったプログラムを初めて開催した。港区国際交流協会の協力のもと、オンラインと対面で2回開催し、グループでのディスカッションを取り入れ、コミュニケーションを重視したプログラムを実施した。港区に在住・勤務の方を中心に37の方が参加し、中間支援組織との連携の試みともなった。

生活の中の文様を見つけよう

概要: 当館の建物の歴史と特徴を動画で鑑賞し、世界のいろいろな文様や生活との関わりを考えながら、建物内部に施された文様を使ってオリジナルの布を制作した。日本の他、メキシコ、タイ、韓国、中国、台湾、ポーランド、ジャマイカ、シンガポール、ウルグアイ、イギリス国籍の方からの申し込みがあった。



日時: 2021年6月27日(日) 14:00~16:30

場所: オンライン

対象: 「みなとにほんご友だちの会」(運営:一般財団法人港区国際交流協会 主催:港区)の参加者

参加者数: 17人

参加費: 無料

協力: 港区、一般財団法人港区国際交流協会

驚く服を見つけよう! あなたは何を着たいですか?

概要: 「着たいもの」をキーワードに「奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム」展を鑑賞し、参加者同士で気になった作品について意見を交わした。日本、マレーシア、イタリア、中国、台湾の方々が参加した。



日時: 2022年3月5日(土) ①10:30~12:30 ②14:00~16:00

場所: 東京都庭園美術館 スタジオ及び展示室

対象: 「みなとにほんご友だちの会」

(運営:一般財団法人港区国際交流協会 主催:港区)の参加者

参加者数: ①8人 ②12人

参加費: 無料

協力: 港区、一般財団法人港区国際交流協会



6. 旧朝香宮邸資料公開室の運営

ウェルカムルーム運営

概要：来館者一人一人が能動的に美術館体験を楽しむためのラーニング・プログラムの拠点。カンパセーション・テーブル「さわる小さな庭園美術館」、建築紹介の音声ガイドとしても使えるアプリのためのタブレット端末、本棚、ワークシートなどが設置されており、展覧会鑑賞前後にのんびり過ごす空間として親しまれている他、学校団体などの受け入れや、ワークショップの会場としても活用。展覧会ごとに関連書籍や気軽に楽しめるカードゲームなどのコンテンツを用意している。



開室日数:215日

利用者数:15,749 人



7. 学校連携事業

スクールプログラム

美術館が担う役割のひとつに学校教育との連携がある。その役目を深め、学校の様々なニーズに応えるために本年度より学校連携事業を開始した。初年度は児童・生徒の団体来館を受け入れる2つのコースと、教員を対象にした鑑賞機会を設け、受け入れ規模やプログラムの組み立てを検討しながら試行的に実施した。



開館日コース

概要：通常の開館日（平日のみ実施）に学校団体での来館を受け入れるコース。冒頭にレクチャーをするなど、授業目的と生徒の関心に合わせてプログラムを行い、個人でも主体的に鑑賞できるようにした。40人が参加。

2021年9月29日（水）東洋女子高等学校 1年生 8人（+引率教員2人）

2021年11月5日（金）東京女子学園中学校 1年生 14人（+引率教員2人）

2022年3月31日（木）東京都立芸術総合高等学校 1,2年生 10人（+引率教員4人）

休館日コース

概要：展示室を休館日に特別に開放し、貸し切りの環境で建物や、開催中の展覧会を鑑賞。学校教員と相談の上プログラムを決定し、学校での事前授業やガイダンスを行うことで児童・生徒が積極的に参加できるよう工夫した。当日はワークシートを活用し自分の関心や気づきを深めることを目指した。142人が参加。

2022年2月14日（月） 港区立白金の丘小学校 6年生 103人（+引率教員7人）

聖心女子学院高等科 3年生 31人（+引率教員1人）

ティーチャーズウィーク

都内の小中高等特別支援学校の先生を対象に展覧会ごとに無料で観覧できる機会を設けた。美術館での鑑賞授業に向けた研修の一環として活用できるようにした。

実施期間：①2021年6月4日（金）～6月13日（日）

②2021年7月1日（木）～7月11日（日）

③2021年9月22日（水）～9月30日（木）

④2022年1月18日（火）～1月28日（金）

参加人数：70人

研修等協力

2021年10月13日（水）港区教育研究会 図工部 研究授業・研究協議会

参加人数：16人



8. 東京都庭園美術館コンサート

クラシックのサロンコンサートを実施し、広く当館を知ってもらうきっかけとした。令和3年度については、公演を4回行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため客席を半分に実施した。

実施日：11月8日(月)、12月4日(土)、12月5日(日)

主催者：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、
株式会社ジャパン・アーツ

チケット全席自由：5,500円

広報印刷物：チラシ(A4)デザイン：株式会社公栄社

企画：朝香誠彦

協賛：株式会社ニッピコラーゲン化粧品

協力：株式会社ショコラティエ・エリカ



【実施コンサート】

実施回数計：4回

参加者数計：175人

第1回 外山啓介 ピアノ・リサイタル

開催日：11月8日(月)14時開演

開催場所：新館ギャラリー2

参加人数：47人

第2回 山根一仁 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：12月4日(土)14時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：44人

第3回 及川浩治 ピアノ・リサイタル

開催日：12月5日(日)14時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：41人

第4回 藤原真理 チェロ・リサイタル

開催日：12月5日(日)18時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：43人



9. 美術品の収集

当館の収集方針に沿って作品および資料2点を、購入・寄贈による幅広い分野から収集することができた。いずれも今後の展覧会での積極的な活用が期待される。

なお、東京都庭園美術館が令和3年度に条例化されたことに伴い、当館がこれまで収集してきた公益財団法人東京都歴史文化財団所蔵の作品資料36点を東京都へ移管した。

購入

名称：蓋付壺《ラパン No.21》

作者：アンリ・ラパン(国立セーヴル製陶所／窯)

制作年：1925年

サイズ：H48cm×最大径39.3cm

素材・技法：磁器(セーヴル新磁器)



寄贈

名称：クローゼット(妃殿下寝室)

作者：不詳

制作年：1930年代

サイズ：H205cm×W162cm×D48.5cm

素材・技法：木材・金属・鏡





10. 広報事業

2021年度は休館日の変更に伴い、パンフレット「美術館のご案内」を新しく作成。また、庭園内の植物の情報を掲載した庭園マップを制作・配布することで、来館者への満足度を高め、リピートを促している。

昨年に引き続き、SNSの活用、オンラインコンテンツの充実化につとめ、ギャラリートーク、アーティストトークを収録・編集したものをウェブサイトやYouTubeで動画配信するなど、展覧会への来館促進にとどまらず、感染症拡大を受け来館が難しい方でも展覧会を楽しめるような取り組みを行った。その結果、2021年4月～2021年3月までのページビュー数は4,045,696PVで、昨年と比べて約1.4倍上昇した。一方、YouTubeのフォロワー数が774人と、今年の同時期に比べて約2.3倍増加した。Twitter、Facebook、Instagramのフォロワー数も順調に増加している。展覧会やイベントの話題だけでなく、朝香宮邸に関する話題、季節ごとに異なる庭園の様子、カフェやレストランの限定メニュー、ショップのオリジナルグッズなど多岐にわたって充実させた。

各展覧会についてプレスリリースを配信。電話、メールでの記事掲載対応のほか、取材対応、撮影などの立ち合いなどを行った。

また、広報東京都、Tokyo Tokyo Festivalなど、東京都、財団への情報提供を行った。

実績

■テレビ・ラジオ放送件数 11件

「ルネ・ラリック リミックス」展がテレビ朝日「東京サイト」、「奇想のモード」展がNHK「日曜美術館アートシーン」で紹介されたほか、日本庭園内にある茶室「光華」がBS朝日「百年名家」で取り上げられた。

■新聞掲載数 51件

単なるインフォメーションではなく、記事として掲載されたものが多かったため、展覧会の趣旨や見どころを伝えるのに有効だった。

■雑誌掲出件数 103件

■インターネット掲出件数 260件

■WEB関連

公式ウェブサイトアクセス 4,045,696PV

公式Twitter 255回投稿、フォロワー数142,745人(前年比14,638人増)

公式Facebook 182回投稿、フォロワー数26,814人(前年比838人増)

公式Instagram 149回投稿、フォロワー数64,907人(前年比14,467人増)

公式YouTube 13回投稿、フォロワー数774人(前年比435人増)



■ 展覧会プレス内覧会

感染症防止対策に取り組んだうえで実施した。

「建物公開2021 ^{つや}艶めくアール・デコの色彩」(4/23実施) 34人出席

「ルネ・ラリック リミックス——時代のインスピレーションをもとめて」(6/25実施) 56人出席

「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」(9/17実施) 50人出席

「奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム」(1/14実施)79人出席

■ 周辺近隣広報対応

- ・美術館前バナー(1か所)…………… 4回更新
- ・目黒通りバナー(15か所)…………… 4回更新
- ・JR目黒駅周辺地図掲示
- ・東京メトロ・都営線白金台駅出口広告掲示

■ 地域との広報連携

・「キューガーデン」展では、ホテル雅叙園東京との相互割引サービスの提供を行った。

割引期間:10月2日(土)～11月28日(日)

利用者数:184人

■ ロケ撮影対応

- ・スチール撮影 …………… 2件
- ・ムービー撮影 …………… 1件

■ パンフレットの発行

美術館のご案内 発行部数 50,000部(日本語)／5,000部(英語)

庭園マップ 発行部数 130,000部

■ ウェブアクセシビリティ方針の策定と公開

高齢者や障害者を含む誰もが利用できるものとなるよう、日本工業規格JIS X 8341-3:2016のレベル「AA」に準拠することを「ウェブアクセシビリティ方針」として定め、試験結果等をウェブ上で公開した。



11. 美術館維持管理

令和3年度は、緊急事態宣言の発令により4月25日～5月31日までの休館および、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置による1月11日～3月21日(22日は休館日)までの庭園休止はあったものの、庭園と合わせて約16万人の来館者を迎えた。昨年度に引き続き警備や受付・監視業者の協力のもと、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら来館者が安全・快適に鑑賞できるような美術館の体制構築に心掛けた。

1) 設備点検・清掃

収蔵庫、本館・新館展示室等の適切な空調管理のための日常点検、快適な展示スペース確保のための清掃を行った。

2) 館内連絡会等の定期開催

館内連絡会の定期開催により、館と委託業者のみならず、各業者間の連携・協力体制を確立し、課題検討、来館者サービスの向上に努めた。

3) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、以下を実施した。

- ・ 正門入口での検温
- ・ 本館受付カウンターのアクリルパネル設置
- ・ 空気清浄機の設置(本館受付・ロッカー室・ウェルカムルーム・新館1階ロビー)
- ・ 館内ルール館内放送の実施

4) チケットイングサービス導入

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、6月1日から、展覧会・庭園チケット販売方法に日時指定予約システムを導入した。

5) インフォメーションブースの設置

10月14日から、チケット売場棟に新たにインフォメーションブースとして当館他、歴史文化財団各館や当館と関連する館のポスター掲示場所、チラシの配下場所を設置した。

6) 工事・修繕等

- ・ 展示室、収蔵庫系統空調機メンテナンス
- ・ 本館複層ガラス化工事
- ・ 本館カーテンボックス修理 ※詳細は紀要に記載
- ・ 本館ラフコート壁修理 ※詳細は紀要に記載
- ・ 本館鋼製建具落下防止対策設計・工事
- ・ 本館擬宝珠の復旧
- ・ その他、適宜不具合対応に努めた



7) 本館結露対策

国の重要文化財である本館は秋から冬にかけての結露が酷く、昭和8年竣工時の鋼製サッシ枠・扉及び窓台の腐食や劣化を促進させていることが長年の懸案事項であったが、平成29年度に小食堂・喫煙室の2部屋窓ガラスに対し、旭ガラス製「アタッチ」を既存窓ガラス（昭和58年改修工事時に取付）の上から取付け複層ガラス化工事を実施した。それにより、結露軽減の効果が得られたため平成30年度・平成31年度・令和2年度も継続して工事を実施している。令和3年度は、2階ベランダ及び殿下居間窓ガラスに対し複層ガラス化工事を実施した。

その他、昨年度から引き続き展示室・バックヤード等、美術館施設として重要と捉えている本館内各所に、デジタル式のデータロガーを新たに設置し、美術館用空調機が導入されている場所、そうでない場所など、建物全体の温湿度変化の動向を図るべく設置した。複層ガラス化できない個所に対する結露軽減、また、適切な展示環境構築に役立っている。

8) 香水塔照明電球の交換作業

旧朝香宮邸のシンボリック装飾でもある香水塔上部についている照明電球の交換作業を文化財専門家に委託し、年間4回の電球交換と併せてメンテナンスを実施した。

9) 防災訓練の実施

第1回：令和3年8月30日（月）～9月5日（日）実施／第2回：令和4年3月14日（月）実施

10) 東京都が実施する工事への連携・協力

工事定例会に参加し、館の立場からセキュリティに関して情報提供し、工事に連携・協力した。

東京都庭園美術館(3)本館警備機器改修工事

工期 令和3年12月14日（火）～令和4年1月20日（木）



インフォメーションブースの様子



本館ラフコート壁修理の様子



複層ガラス化工事の様子



復旧した本館擬宝珠蝶番の擬宝珠(手前下)



12. 収益事業

(1) ミュージアムショップの運営

新館1階ロビーのミュージアムショップ「リュミエール(Lumière)」において、来館者等に庭園美術館オリジナルグッズや展覧会グッズのほか、図録や芸術関連書籍などを販売した。

実績

購入客数：28,485人

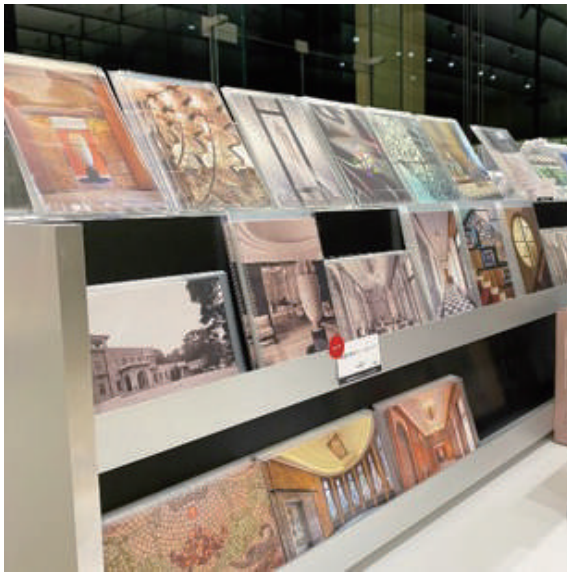
営業日数：219日

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

※美術館休館日に準ずる

事業者：株式会社オークコーポレーション



東京都庭園美術館オリジナルポストカード



東京都庭園美術館オリジナル和三盆



(2) レストラン、カフェの運営

正門横のレストラン「Du Parc」(デュ パルク)は、西洋庭園と本館側がサッシュレス全面ガラスの開放感ある建物で、フレンチをベースに提供している。コース料理を比較的リーズナブルな料金で味わえることや、美術館のチケットがなくても利用できることが特長である。新館1階のカフェ「café TEIEN」(カフェ庭園)は、レストランと同一の事業者が営業を行っている。特にオリジナルのスイーツが充実しており、それぞれの展覧会に合わせたスイーツは見栄えの良さからインスタグラムに多くアップされている。

実績

レストラン「Du Parc」

利用者数：24,539人

営業日数：275日

営業時間：ランチ 11：00～13：30

カフェ 14：00～18：00

※秋と春の夜間開館日及びクリスマス期間(12/21～12/26)のみ、予約限定でディナータイム営業を行った。

定休日：毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始 ※美術館休館日に準ずる

席数：52席(テーブル44席/カウンター8席)

カフェ「café TEIEN」

利用者数：20,792人

営業日数：218日

営業時間：10：00～18：00

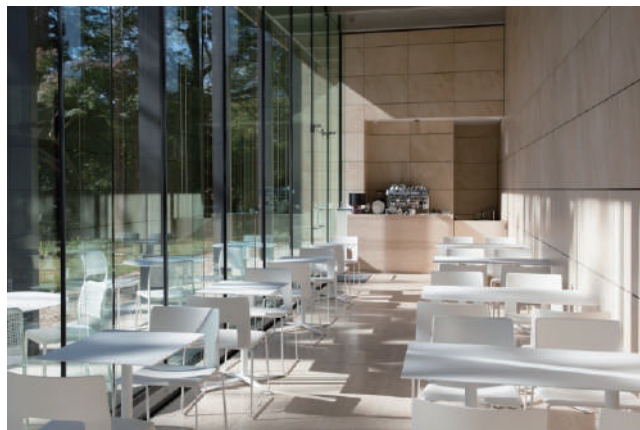
定休日：毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

席数：34席(屋内22席/テラス12席)

事業者(両店舗とも)：メゾン・ド・ミュゼ株式会社



レストラン「Du Parc」



カフェ「café TEIEN」



展覧会コラボメニュー(例)

「ルネ・ラリック リミックス——時代のインスピレーションをもとめて」



カフェ コラボケーキ
「ベールベリーヌ～バタフライ・ブローチを添えて～」

「奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム」



レストラン コラボメニュー(前菜)
「蕪のデクリネゾン～柚子香るホタテと共に～」

3. ユニークベニュー事業

歴史的建造物や文化施設等で、会議やイベント、レセプション等を開催することで、特別感を演出できる会場となるユニークベニュー事業を、平成 29 年より実施している。

令和 3 年度は、1 件の申請があったが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間が延長されたことによりキャンセルとなったため、開催件数は 0 件だった。

令和3年度の実績

1. 入館者数

(単位:人)

事項	事前 予約	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	基準値	前年同期 累計	基準値 対比
20世紀のポスター 原像と文字の風景 建物公開2021		8,650	0	0	0	0	0							8,650	5,000	—	173.0%
企画展 脱めくアール・デコの色彩 ルネ・ラリック リミックス 一時代の インスピレーションをもとめて キューガーデン 英皇王妃が愛した花々 シネマトリプと王妃と花々のアート 香煙のモード 舞うことへの狂熱、またはシュルレアリスム	○	780	0	6,115	0	0	0							6,895	40,000	—	17.2%
	○	0	0	1,988	9,875	10,338	3,756							25,957	47,000	—	55.2%
	○						7,175	16,356	25,001					48,532	50,000	—	97.1%
	○										6,896	10,367	16,589	33,852	43,000	—	78.7%
観覧者 合計		9,430	0	8,103	9,875	10,338	10,931	16,356	25,001	0	6,896	10,367	16,589	123,886	185,000	75,569	67.0%
庭園のみ入場者		5,445	0	3,425	1,712	1,520	4,040	4,849	7,427	7,414	984	0	2,494	39,110	66,800	36,465	58.5%
その他入館者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	800	0	0.0%
展覧会に伴う講演会		0	0	21	0	25	0	229	43	0	0	30	25	373	240	331	155.4%
展覧会ギャラリーツアー等		16	0	42	0	0	0	37	20	0	0	0	0	115	120	35	95.8%
ワークショップ等		0	0	0	0	0	0	0	47	128	0	0	0	175	650	127	26.9%
ミュージアム・コンサート		0	0	78	55	0	87	33	103	0	22	157	34	569	580	195	98.1%
その他イベント		16	0	141	55	25	87	299	213	128	22	187	59	1,232	2,390	688	51.5%
その他入館者合計		16	0	141	55	25	87	299	213	128	22	187	59	1,232	2,390	688	51.5%
入館者 総合計		14,891	0	11,669	11,842	11,883	15,058	21,304	32,641	7,542	7,902	10,554	19,142	164,228	253,810	112,722	64.7%

※その他入館者は、館主催の自主事業利用者数とする。
※新型コロナウイルス対応のため4/25-5/31全面休館、1/12-3/21庭園休止

外国人入館者	企画展	16	0	1	19	21	9	40	46	0	7	12	26	197	—	180	—
	庭園のみ	48	0	12	13	10	17	37	40	0	6	0	10	193	—	133	—
茶室公開		4,052	0	2,966	2,814	3,401	3,562	5,657	9,451	3,645	436	0	2,289	38,273	—	20,284	—

結婚応援パスポート	庭園のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	2	2	—	—	—
医療従事者ご招待カード	企画展	—	—	—	1	37	39	112	151	2	15	34	307	698	—	—	—
ワゴン接種予約パス	庭園のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	0	2	5	—	—	—
ウエルカムユース	企画展	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	639	639	—	—	—

2. 広報・宣伝

(単位:件)

事項	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年 同月比
マスコミ	TV・ラジオ放送件数	0	0	0	0	2	1	2	2	0	3	0	1	11	78.6%
	新聞掲載件数	4	3	4	3	2	5	7	1	5	5	6	6	51	121.4%
	雑誌等掲載件数	25	7	35	32	28	39	44	22	20	50	29	32	363	117.9%
ホームページ	アクセス件数(PV)	272,143	139,885	341,056	299,786	286,917	382,401	518,736	588,294	184,507	305,066	286,213	440,712	4,045,696	139.3%
ツイッター	フォロー数	129,173	129,790	131,019	131,825	133,184	134,675	136,216	137,619	138,751	139,918	141,282	142,745	142,745	111.4%

3. 収益事業収入

(単位:円)

事項	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年 同月比
管理手数料及び売上	MS管理手数料	171,135	0	42,216	58,819	80,383	122,265	188,397	221,805	11,000	367,572	534,783	787,200	2,565,575	104.3%
	飲食施設管理手数料	1,009,360	0	1,261,700	1,261,700	1,261,700	1,261,700	1,282,877	1,458,938	1,261,700	1,261,700	1,261,700	1,291,700	13,844,775	113.3%
	駐車場売上高	352,500	15,000	276,000	261,000	508,500	472,500	506,500	770,500	256,500	114,000	234,000	405,000	4,172,000	96.6%
	自販機管理手数料	31,533	23,558	29,260	30,431	29,524	31,324	26,560	29,006	27,481	26,056	20,699	24,913	330,345	98.6%
	計	1,564,528	38,558	1,609,176	1,611,950	1,880,107	1,887,789	2,004,334	2,480,249	1,556,681	1,769,328	2,051,182	2,458,813	20,912,695	108.2%

※新型コロナウイルス対応のため4/25-5/31全面休館、1/12-3/21庭園休止



令和3年度の実績 4. 展覧会関連事業

(参考) ミュージアムショップ売上高

															(税抜)	
事 項		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年 同期比	
MS売 上高	開店日数	11	0	18	28	28	16	27	25	0	14	25	27	219	89.0%	
	売上高(円)	3,281,375	0	2,380,983	3,424,037	4,993,829	5,832,540	8,982,413	12,432,869	0	2,629,642	3,869,252	5,573,342	53,400,282	228.1%	
	購買客数(人)	1,514	0	1,469	1,705	2,199	2,919	5,106	7,307	0	1,248	1,939	3,079	28,485	208.3%	
	1日平均売上金額	298,307	—	132,277	122,287	178,351	364,534	332,682	497,315	—	187,832	154,770	206,420	243,837	256.3%	
	1人平均購買金額	2,167	—	1,821	2,008	2,271	1,998	1,759	1,702	—	2,107	1,995	1,810	1,875	109.5%	

※6/7、11/15、2/28(すべて休館日)は、障害のある方対象鑑賞ツアー開催のため営業

(参考) 飲食施設売上高

															(税抜)	
事 項		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年 同期比	
飲食 施設 売上 高	開店日数	18	0	26	28	28	26	27	25	23	23	25	27	276	103.4%	
	売上高(円)	4,555,178	0	6,452,432	8,100,516	7,883,751	7,812,583	11,862,525	13,263,089	5,003,213	3,268,712	4,790,930	8,705,923	81,498,852	112.8%	
	飲食客数(人)	3,038	0	3,854	4,523	4,678	4,579	6,389	7,081	1,833	1,769	2,843	4,944	45,331	116.7%	
	1日平均売上金額	253,065	—	248,170	289,304	281,563	300,484	431,945	530,524	217,531	142,118	191,637	322,442	295,286	109.1%	
	1人平均飲食金額	1,499	—	1,766	1,791	1,685	1,706	1,825	1,873	2,730	1,848	1,685	1,761	1,788	96.6%	

※6/7、11/15、2/28(すべて休館日)は、障害のある方対象鑑賞ツアー開催のため営業(新館カフェ)

4. 展覧会関連事業

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
展覧会に伴う講演会	実施事業数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延実施日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延実施回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延参加人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
展覧会ギャラリーツアー等	実施事業数	0	0	2	0	1	0	2	2	2	0	0	1	9
	延実施日数	0	0	1	0	1	0	2	2	2	0	0	1	8
	延実施回数	0	0	3	0	1	0	2	3	0	0	2	1	12
	延参加人数	0	0	21	0	25	0	228	43	0	0	30	25	373
ワークショップ等	実施事業数	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
	延実施日数	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
	延実施回数	1	0	6	0	0	0	5	2	0	0	0	0	14
	延参加人数	18	0	42	0	0	0	37	20	0	0	0	0	115
ミュージアム・コンサート	実施事業数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	延実施日数	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
	延実施回数	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	4
	延参加人数	0	0	0	0	0	0	0	47	128	0	0	0	175
その他イベント	実施事業数	0	0	3	2	0	3	2	4	0	2	3	2	21
	延実施日数	0	0	11	11	0	10	2	4	0	11	2	2	53
	延実施回数	0	0	11	15	0	10	2	12	0	11	4	3	69
	延参加人数	0	0	78	55	0	87	33	103	0	22	157	34	569

※随時体験型イベントの実施回数は1回/月とみなす。

その他

1.組織図

令和4年3月31日現在

館長(副理事長兼務)	坂巻 政一郎
副館長(学芸)	牟田 行秀

管理係

管理係長〔派〕	奈良部 浩武
主任	増渕 仁美
主事	高橋 さおり
主事	清水 麻子
主事	丸山 文江

事業係

事業係長(学芸)	森 千花
教育普及担当係長(学芸)	板谷 敏弘
サービス推進担当係長	藤野 英樹
主任(学芸)	神保 京子
主任(学芸)	大木 香奈
主任(学芸)	吉田 奈緒子
主事(学芸)	田村 麗恵
主事(学芸)	大谷 郁
主事(学芸)	鶴 三慧



2. 展覧会実績一覧

1983 昭和58年

グッゲンハイム美術館展 1983年10月1日～12月25日(81日)

1984 昭和59年

早春展 1984年2月23日～4月9日(45日)

陽春展 1984年4月14日～4月23日(10日)

コプト美術展 1984年4月28日～6月3日(35日)

'84 初夏—美とのであい 1984年6月16日～7月8日(22日)

ルオー展 1984年9月14日～11月4日(48日)

晩秋展 1984年11月17日～12月23日(35日)

1985 昭和60年

日本画による初春展 1985年1月12日～2月11日(30日)

アレックス・コルヴィル展 1985年2月20日～3月21日(28日)

フランス・コルベール展 1985年4月1日～5月12日(39日)

日本の美 1985年5月19日～6月23日(31日)

アジア近代絵画の夜明け展 1985年7月20日～9月1日(44日)

庭園美術館への誘い 1985年9月12日～24日(13日)

20世紀オーストラリア美術名作展 1985年10月4日～11月6日(32日)

NEW YORK・ニューヨーク 1985年11月17日～12月22日(34日)

1986 昭和61年

回想の江戸・東京展 1986年1月11日～2月23日(42日)

12人の現代彫刻家 1986年3月2日～4月16日(43日)

アントニー・クラーベ展 1986年4月27日～6月30日(61日)

黒田清輝展 1986年7月11日～8月10日(30日)

日本の子どもの本歴史展 1986年8月17日～9月23日(36日)

室町美術と戦国画壇 1986年10月5日～11月9日(34日)

庭園美術館へのいざない パートⅢ 1986年11月20日～12月21日(30日)

1987 昭和62年

日本のガラス造形—昭和 1987年1月10日～3月22日(67日)

アンデスの染織と工芸 1987年4月4日～5月12日(37日)

美しき日本 1987年5月23日～6月30日(36日)

小磯良平展 1987年7月11日～8月30日(48日)

ブルデル/デュフェ 1987年9月12日～11月23日(69日)

「新東京百景」展 1987年11月29日～12月22日(23日)

1988 昭和63年

回想の江戸・東京Ⅱ 1988年1月10日～2月14日(33日)

牧野虎雄・曾宮一念展 1988年2月25日～3月27日(30日)

ルネ・ラリック展 1988年4月5日～5月29日(51日)

パリ・街・人 アジェとカルティエ=ブレッソン 1988年6月4日～7月24日(48日)

西洋美術の名作展 1988年7月31日～9月4日(34日)



ヤン・トーロップ展 1988年9月20日～11月6日(45日)
レオナルド・フジタ展 1988年11月12日～1989年2月21日(90日)

1989 昭和64年 平成元年

東京都江戸東京博物館収蔵品展 1989年3月1日～3月28日(26日)
ヘルムート・ニュートン ポートレート 1989年4月5日～5月14日(37日)
フンデルトワッサー展 1989年5月21日～7月11日(49日)
藤島武二展 1989年7月19日～9月3日(47日)
江戸美術の祝祭 1989年9月14日～10月24日(39日)
国吉康雄展 1989年11月1日～12月24日(51日)

1990 平成2年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1990年1月11日～2月4日(24日)
ドイツ・ロマン派の時代展 1990年2月18日～3月25日(34日)
浜口陽三展 1990年4月3日～6月3日(58日)
ルネ・ラリックの香水瓶展 1990年6月16日～8月5日(48日)
古代ギリシャ美術展 1990年8月18日～9月23日(35日)
エドワード・ホッパー展 1990年10月6日～12月16日(67日)

1991 平成3年

ルイス・C・ティファニー展 1991年1月12日～3月17日(61日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1991年3月24日～3月31日(7日)
子どもの本・1920年代展 1991年4月6日～5月26日(47日)
カッサンドル展 1991年6月2日～7月14日(40日)
小磯良平遺作展 1991年7月20日～8月27日(37日)
袱紗展 1991年9月14日～10月13日(28日)
世界の名作展 1991年11月2日～12月20日(46日)

1992 平成4年

ベルリン東洋美術館名品展 1992年1月12日～2月17日(35日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年2月29日～3月24日(24日)
バリー・モダン1910-30年代 1992年4月4日～5月24日(48日)
ロバート・メイプルソープ展 1992年6月2日～7月2日(29日)
日本洋画再考展 1992年7月10日～8月5日(26日)
洋画の動乱 昭和10年 1992年8月14日～10月6日(51日)
卓上の芸術 1992年10月17日～12月10日(51日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年12月18日～1993年1月21日(25日)

1993 平成5年

ドーム・ガラス展 1993年1月31日～3月15日(41日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1993年4月3日～4月13日(11日)
長谷川潔展 1993年4月29日～7月7日(66日)
デ・キリコ展1920-1950 1993年7月16日～8月15日(29日)
大正日本画の若き俊英たち 1993年8月21日～9月23日(31日)
アール・デコ様式のセーブル磁器展 1993年10月2日～12月19日(74日)

1994 平成6年

旧朝香宮邸の建築と歴史 1994年1月15日～2月13日(38日)
全国美術館コレクション名品展 1994年3月3日～3月31日(27日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1994年4月5日～4月17日(12日)



カール・ラーション展 1994年4月23日～5月31日(36日)
 ヨーロッパ工芸新世紀展 1994年6月11日～7月31日(48日)

1995 平成7年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1995年3月10日～3月19日(10日)
 フランス宝飾芸術の世界展 1995年4月8日～5月28日(47日)
 レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図 1995年6月10日～7月30日(47日)
 アメリカに生きた日系人画家たち 1995年8月12日～10月1日(48日)
 スチュアート・デイヴィス展 1995年10月10日～11月26日(44日)
 エドゥアール・サンド彫刻展 1995年12月7日～1996年2月13日(57日)

1996 平成8年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年2月24日～3月24日(28日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年4月1日～5月26日(52日)
 林武展 1996年6月15日～7月28日(41日)
 日本工芸の青春期1920s-1945 1996年8月10日～9月17日(36日)
 北大路魯山人展 1996年10月5日～11月24日(48日)
 ジョージ・チネリーと知られざる19世紀広東・マカオ・香港の美術展 1996年12月7日～1997年2月11日(55日)

1997 平成9年

イタリア・バロック絵画展 1997年2月20日～3月30日(36日)
 アルザスとフランス近代美術の歩み 1997年4月5日～5月25日(48日)
 パリ国立オペラ座衣裳展 1997年6月14日～8月17日(61日)
 東南アジア—近代美術の誕生 1997年9月6日～10月12日(34日)
 フォンタネージと日本の近代美術 1997年10月23日～12月14日(50日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1997年12月21日～1998年1月27日(28日)

1998 平成10年

工芸のジャポニスム展 1998年2月7日～3月24日(43日)
 華麗なる馬たち 1998年4月4日～5月26日(50日)
 イタリアのガラス1930-1970 1998年6月6日～7月26日(47日)
 ザッキン—彫刻と素描展 1998年8月8日～9月27日(47日)
 ジョルジョ・モランディ 花と風景 1998年10月10日～11月29日(47日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1998年12月12日～1999年3月21日(86日)

1999 平成11年

名画の花束 1999年4月3日～5月30日(54日)
 リバティ・スタイル展 1999年6月12日～7月25日(42日)
 宮本三郎展 1999年8月7日～9月19日(41日)
 パリ・モード1870-1960 1999年10月2日～12月19日(74日)

2000 平成12年

アール・デコと東洋 2000年1月8日～3月21日(69日)
 デペロの未来派芸術展 2000年4月4日～5月23日(47日)
 指輪—ちいさな記念碑の物語 2000年6月7日～8月6日(57日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2000年8月19日～10月29日(67日)
 ルネ・ラリック1860-1945展 2000年11月11日～2001年1月31日(69日)



2001 平成13年

ロシア・アヴァンギャルド展 2001年2月10日～4月1日(47日)
 ジョルジュ・ルース展 2001年4月7日～6月3日(54日)
 ジノリ展 2001年6月16日～8月19日(61日)
 安田侃—彫刻展 2001年8月25日～9月16日(22日)
 安田侃—野外彫刻展 2001年4月12日～2002年3月17日併催
 カラヴァッジョ 2001年9月29日～12月16日(76日)

2002 平成14年

旧朝香宮邸のアール・デコ展 2002年1月5日～3月17日(67日)
 マジョリカ名陶展 2002年4月4日～6月23日(76日)
 ソニア・ドローネ 2002年7月6日～9月8日(61日)
 ピュイフォルカ展 2002年9月21日～12月1日(68日)

2003 平成15年

旧朝香宮邸のアール・デコ 2003年1月4日～4月6日(81日)
 ヨーロッパ・ジュエリーの400年 2003年4月24日～7月1日(65日)
 マリー・ローランサン回顧展 2003年7月19日～9月15日(55日)
 アール・デコ様式 2003年10月1日～2004年2月1日(105日)

2004 平成16年

パリ1900 2004年2月21日～4月11日(48日)
 シルクロードの装い 2004年4月24日～6月20日(54日)
 幻のロシア絵本1920-30年代展 2004年7月3日～9月5日(61日)
 エミール・ノルデ 2004年9月18日～11月7日(48日)
 田原桂—光の彫刻 2004年11月20日～2005年1月23日(54日)

2005 平成17年

日本のジュエリー100年 2005年2月5日～4月10日(61日)
 ジェームズ・アンソール展 2005年4月23日～6月12日(47日)
 八木一夫展 2005年7月2日～8月21日(48日)
 庭園植物記 2005年9月3日～11月6日(61日)
 華麗なるマイセン磁器 2005年11月19日～2006年1月22日(55日)

2006 平成18年

宇治山哲平展 2006年2月4日～4月9日(61日)
 北欧のスタイリッシュ・デザイン 2006年4月22日～6月18日(54日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2006年7月8日～10月1日(80日)
 アール・デコ・ジュエリー 2006年10月14日～2007年1月14日(80日)

2007 平成19年

アルフレッド・ウォリス 2007年2月3日～3月31日(53日)
 大正シック 2007年4月14日～7月1日(74日)
 舞台芸術の世界 2007年7月26日～9月17日(51日)
 世界を魅了した ティファニー 1837-2007 2007年10月6日～12月16日(67日)
 アール・デコの館 2007年12月23・24日/2008年1月12日～14日(5日)



2008 平成20年

建築の記憶 2008年1月26日～3月31日(63日)
オールドノリタケと懐かしの洋食器 2008年4月17日～6月15日(56日)
舟越桂 夏の邸宅 2008年7月19日～9月23日(64日)
アール・デコの館 2008年10月1日～10月13日(13日)
1930年代・東京 2008年10月25日～2009年1月12日(69日)

2009 平成21年

ポワレとフォルチュニイ 2009年1月31日～3月31日(58日)
エカテリーナ2世の四大ディナーセット 2009年4月16日～7月5日(76日)
ステッチ・バイ・ステッチ 2009年7月18日～9月27日(68日)
パリに咲いた古伊万里の華 2009年10月10日～12月23日(70日)

2010 平成22年

マッキアイオーリ 2010年1月16日～3月14日(54日)
アール・デコの館 2010年3月25日～4月11日(18日)
ロトチェンコ+ステパーノワ 2010年4月24日～6月20日(54日)
有元利夫展—天空の音楽 2010年7月3日～9月5日(61日)
香水瓶の世界 2010年9月18日～11月28日(67日)
朝香宮のグランドツアー 2010年12月11日～2011年1月16日(28日)

2011 平成23年

20世紀ポスター[タイポグラフィ] 2011年1月29日～3月27日(50日)
森と芸術 2011年4月16日～7月3日(74日)
皇帝の愛したガラス 2011年7月14日～9月25日(70日)
アール・デコの館 2011年10月6日～10月31日(24日)

2014 平成26年

アーキテクト／1933／Shirokane 2014年11月22日～12月25日(32日)
内藤礼 信の感情 2014年11月22日～12月25日(32日)

2015 平成27年

幻想絶佳：アール・デコと古典主義 2015年1月17日～4月7日(76日)
マスク展 2015年4月25日～6月30日(63日)
アール・デコの邸宅美術館 2015年7月18日～9月23日(64日)
オットー・クンツリ展 2015年10月10日～12月27日(73日)

2016 平成28年

ガレの庭 2016年1月16日～4月10日(81日)
メデイチ家の至宝 2016年4月22日～7月5日(70日)
こどもとファッション 2016年7月16日～8月31日(44日)
アール・デコの花弁 2016年9月22日～12月25日(89日)
クリスチャン・ボルタンスキー 2016年9月22日～12月25日(89日)

2017 平成29年

並河靖之七宝展 2017年1月14日～4月9日(81日／平成28年度中は72日)
装飾は流転する 2017年11月18日～2月25日(86日)



2018 平成30年

アール・デコリヴァイヴァル! 建物公開 旧朝香宮邸物語 2018年3月21日～6月12日(79日/平成29年度中は10日)
 フランス絵本の世界 2018年3月21日～6月12日(79日/平成29年度中は10日)
 ブラジル先住民の椅子 野生動物と想像力 2018年6月30日～9月17日(75日)
 エキゾテック×モダン アール・デコと異郷への眼差し 2018年10月6日～2019年1月14日(86日)

2019 平成31年

岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟 2019年1月26日～4月7日(68日/平成30年度中は61日)
 キスリング展 エコール・ド・パリの夢 2019年4月20日～7月7日(74日)
 1933年の室内装飾 朝香宮邸をめぐる建築素材と人びと 2019年7月20日～9月23日(62日)
 アジアのイメージ—日本美術の「東洋憧憬」 2019年10月12日～2020年1月13日(80日)

2020 令和2年

北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック アール・デコのガラス モダン・エレガンスの美
 2020年2月1日～2月28日(26日)
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月29日～4月7日は休止
 建築をみる2020 東京モダン生活(ライブ) 東京都コレクションにみる1930年代
 2020年6月1日～9月27日(4月18日～6月23日より会期変更)(111日)
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月18日～5月31日は休止
 生命の庭—8人の現代作家が見つけた小宇宙 2020年10月17日～2021年1月12日(75日)

2021 令和3年

20世紀のポスター[図像と文字の風景]—ビジュアルコミュニケーションは可能か?
 2021年1月30日～4月11日(67日)
 建物公開2021 艶めくアール・デコの色彩
 2021年4月24日、6月1日～6月13日(13日)
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月25日～5月31日は休止
 ルネ・ラリック リミックス—時代のインスピレーションをもとめて 2022年6月26日～9月5日(65日)
 キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート
 2021年9月18日～11月28日(62日)

2022 令和4年

奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム
 2022年1月15日～4月10日(74日)
 ※令和3年度：2022年1月15日～3月31日(65日)

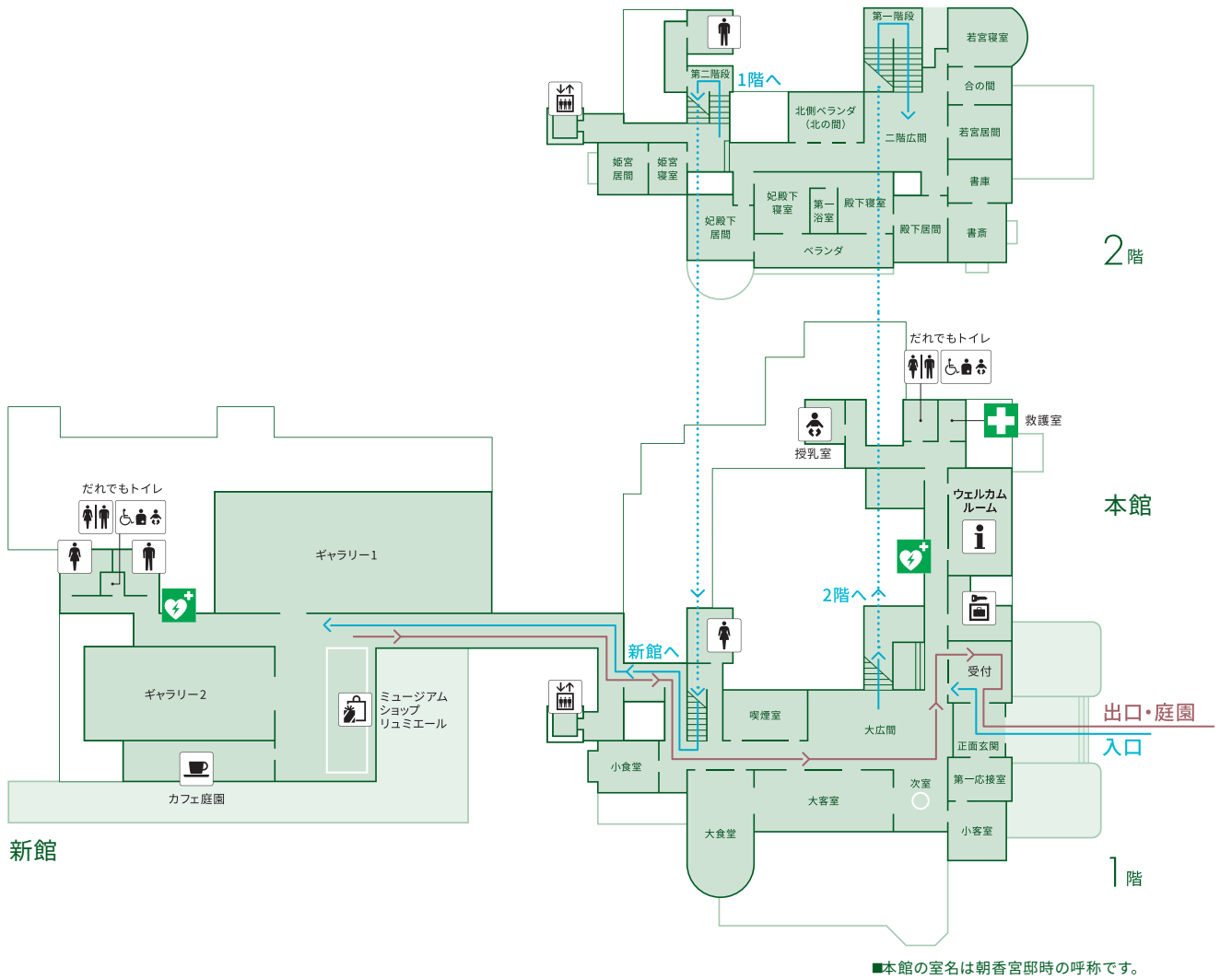


3.施設配置図





本館(旧朝香宮邸)・新館



茶室

